地域福祉活動計画

「地域福祉活動計画」は、花巻市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるための計画です。

「住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の３つの計画で構成しています。

住民福祉活動計画	住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。市内１０地区でそれぞれに福祉活動やまちづくりに携わる住民の皆さんと策定し、住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」を形にしたもの。
地域福祉推進計画	花巻市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、地域福祉活動を推進していくための計画。
基盤強化計画	地域福祉を推進するために必要な、花巻市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化を進めるための計画。

花巻市社会福祉協議会湯本支部

花巻市社会福祉協議会では地域福祉の推進単位として花巻市を１０の地区に分け、その各地区に社協支部を設置しています。

【湯本支部運営委員の選出団体】

湯本地区コミュニティ会議、湯本区長会、湯本地区民生委員児童委員協議会、湯本地区老人クラブ連合会、湯本地区教育振興協議会、湯本地区自治公民館連絡協議会、学識経験者

【湯本支部の主な活動状況】

地域福祉懇談会、世代間交流事業、一人暮らし高齢者昼食会（ふれあい寿サロン）、敬老事業、支部研修、HANAMAKI 見守り安心事業の推進、ふれあいいきいきサロン活動の推進、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動の推進・実施、湯本地区生活サポートの会（総合事業）運営の協力・推進、キャップハンディ体験　　等々

【湯本地区の年齢層別人口及び世帯等の状況について】

人口	6,421 人 （男 3,097 人:女 3,324 人）
年少人口(0～14 歳)	523 人(8.1%)
生産人口(15～64 歳)	3,392 人(52.9%)
高齢人口(65 歳以上)	2,506 人(39.0%)

行政区数	16 行政区
世帯数	2,739 世帯
一人暮らし高齢者世帯数	566 世帯
高齢者のみ世帯数	387 世帯

資料:花巻市　年齢別人口集計表(令和５年９月末)、花巻市　老人人口集計(令和５年９月末)

【湯本地区の社会資源等の状況について】

コミュニティ会議数	１ヵ所	民生委員児童委員数	16 人	ふれあいサロン数	11ヵ所
民生委員児童委員協議会数	１ヵ所	主任児童委員数	２人	医療機関数	３ヵ所
教育機関･学校数	幼･保･こども園　３園　/　小学校　１校(学童クラブ１ヵ所)　/　中学校　１校				
社会福祉施設数	高齢　10施設　/　障がい　１施設				

※地区内に所在地がある学校数です。但し、湯本地区では学区が二つに分かれており、宮野目地区の学校に通学する児童･生徒もいます。

資料:東北厚生局　医療機関一覧表(令和５年 11 月１日)、花巻市　障がい福祉ガイドブック 2023

湯本地区住民福祉活動計画

令和６年度～令和１０年度

ワクワク　きずな　湯本プラン

～ささえあういい～いで湯本～

全ての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、国や自治体が定めた一律の制度やサービスだけではなく、それぞれの地域の実情にあった住民同士の支え合いの仕組みが必要です。

地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、住みよい地域づくりを行っていくため、地域の福祉課題の解決に向けての目標を掲げ、目標の達成にむけて地域ぐるみの取り組みを推進するための計画です。

策定：湯本地区小地域福祉活動計画策定委員会
編集・発行：花巻市社会福祉協議会湯本支部
社会福祉法人　花巻市社会福祉協議会
問合せ：花巻市社会福祉協議会湯本支部
電話　0198-41-8739　　ＦＡＸ　0198-22-4283

湯本地区

湯本地区は山や田畑など自然豊かな地域であると同時に、花巻温泉・台温泉などの観光地でもあり、工業団地も整備されています。
また、鹿踊りや神楽などの郷土芸能の伝統もあり、地域での行事や活動も活発に行われています。
地元に根付いた地域団体の活動も活発で、地域住民による生活支援のボランティア活動が行われていますが、担い手不足や支援者の高齢化が課題となっています。

『私たちの地域を語ろう』から始まりました

花巻市社会福祉協議会湯本支部では令和4～5年度にかけて『私たちの地域を語ろう』をテーマに地域福祉懇談会を4回開催しました。
湯本地区の住民のみなさんと地域の理想像について意見を出し合い、理想の地域づくりに向けて、今できていること、できていないこと、地域の強みや弱み、福祉課題について意見交換しました。
懇談会で挙げられた住民の声や思いを基に、地域住民が主体的に取り組むための住民福祉活動計画として、3つの目標をまとめました。

【湯本地区の特徴ある地域福祉の取り組み】

- 湯本地区生活サポートの会による付き添い支援や除雪などの取り組み
- 湯本地区未来会議・コミュニティ会議による活動
  （ゆもと市、スノーシアター、盆踊り、ぐーるぐるマップ作成など）
- 放課後児童の学習支援の場としての湯本っ子塾
- 鹿踊りや田植踊、神楽や鬼剣舞など、多くの伝統芸能の継承

田植え踊りの様子

福祉でまちづくりを進めるために聞いた 住民の声や思い

福祉の情報が不足している・相談先が分からない

民生委員等の人材育成やサポートも必要

若い人が戻って来たくなる魅力ある地域にしたい

交流の機会が減り、近隣住民との関わりが希薄で、生活課題を抱えている方の把握が困難

高齢者世帯や高齢者の一人暮らしで移動や除雪など困ることが多い

交流の場や地域での子育てセミナー、勉強会を開催したい

生活サポートの会などボランティアの担い手が不足しており、拡充や周知を図りたい

小中学校を対象に生活支援ボランティアの体験学習がしたい

5年後こんな湯本地区になっているといいな！！

地域全体で子どもを見守ることで、子育て世代・働く世代が住みやすい地域

災害時の対策作りができていて、誰もが安心して暮らせる地域

今ある資源を活かしていける地域

交流の機会や居場所がある地域

障がいがある人もない人も年をとっても元気で生きがいを持ち、みんなが共に安心して住める地域

困った時に話せたり、助け合いのできる繋がりのある地域

住民の声や思いをもとに考えた 地域の福祉を良くする3つの目標

ゆるく繋がる体制をつくろう（日常的にできることから）

〇できることからご近所さんとゆるくお互いを気にかけ、温かい繋がりをもとう
（お茶飲みサロン開催や、新聞が溜まっていないか草取りしながら見守りなど）
〇地域の活動や民生委員など、福祉の身近な相談先を知る機会をもとう
（認知症についての勉強会の実施など）

もっと安心安全な湯本のために支え合おう

〇湯本地区生活サポートの会やボランティア活動について広く知ろう
（サロンや老人クラブ等の会合の際に PR するなど）
〇自分達の困りごとなどを話す機会をつくろう
（情報交換の場や、研修会・交流会、他地区の活動を知る機会など）

ともにワクワクできる湯本地域にしよう

〇学校周辺や、地域の資源を活用しワクワクする体験や交流をしよう
（農業体験や、地元の施設等を利用した行事の開催や交流など）
〇顔の見える交流を深めよう
（湯本っ子塾の活動継続や小さなコミュニティの構築など）